



校外学習などから学ぶ

～笑顔あふれる楽しい学校～ 校長 山中栄治

朝晩の冷え込みが強くなり、空気が乾燥する季節を迎えました。平成から令和という節目の年も残りわずかとなり、今年度も約3分の2が終わろうとしています。寒さが身にしみる残りの3分の1が、ステップアップするための大切な時期でもあります。3年生はもちろん、1・2年生の皆さんも一人一人が体調管理に気を付け、学校全体でインフルエンザなど感染性の流行を防げるよう、睡眠と食事をしっかりととり、うがい、手洗いを励行していきましょう。

さて、先月の30日に立川市民会館で音楽祭が開催されました。合唱練習が始まり、各フロアから美しい



声が響き渡り、日に日に上達していくのがとても楽しみでした。音楽祭実行委員会が中心となり準備を重ね、どのクラス

も金賞の獲得を目指して練習に取り組んできました。当日、一人一人がステージで精一杯の力を発揮し、大変素晴らしい発表となりました。行事だけでなく、どんなことにも成功へと導くために大切なことは、明確な目標設定と周到な準備が必要です。音楽祭を通して学んだ多くのことを自分のさらなる成長にどうつなげるかは、生徒一人一人がもてる力を様々な場面で発揮していくことだと思います。3年生は、入試に向けての進路面談等での最終段階に入ります。また、今週は、1年生が都内フィールドワーク、2年生が鎌倉フィールドワークと続きます。成長した自分が実感できるよう、一日一日を大切にしたいと思っています。

二中の二大行事である、運動会も音楽祭も大成功でした。これまで生徒を色々な面で励ましていただいた保護者・地域の方々へあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。これからも二中の教育活動へのご支援をよろしくお願いたします。

【1年生 都内フィールドワーク】

11月26日(火)、1年生は都内フィールドワークを行いました。武蔵小金井駅から班行動をスタートし、江戸東京博物館又は昭和館を見学し、上野・浅草方面を巡るものでした。音楽祭が終わると同時に都内フィールドワークの準備を始め、スローガンを「History of Tokyo ～江戸から現代へ～」と掲げて、準備や計画作りに取り組んできました。全体を通して、集団の行動を乱すこともなく、無事に都内フィールドワークを終えることができました。

2年生での移動教室、3年生での修学旅行を見据えた、事前学習でもあります。1年生が更に学校生活や様々な行事を通して、集団の力を高めていくことを期待しています。



来年度(令和2年)の音楽祭会場が決定しました。

期日 令和2年10月30日(金)
時間 10:00～15:15(予定)
場所 所沢市民文化センター ミューズ
西武新宿線「航空公園」駅より
徒歩約10分/バス約3分

音楽祭を終えて

音楽科担当教諭 下川 昌子

音楽祭の練習は6月から始めました。二中の生徒は、パートリーダーを中心に自分たちで練習する人が多く感じました。当日の演奏は、どのクラスもやる気に満ち溢れていて完成度の高い合唱に仕上がっていたと思います。本番は一瞬で終わります。この一瞬の演奏のために、何時間も練習してきました。皆、よく頑張りましたね。音楽祭を通して、クラスの絆が深まったり、また目標に向かって努力し続ける力もついたと思います。

有志合唱は、合唱好きな1～3年生が集まり、昼休みに練習を重ねてきました。歌唱力の高い生徒が集まり、良い刺激を受けながら練習することができました。来年も、有志合唱を結成します。興味のある人、是非参加をしましょう！ 二中のみなさん、素敵な歌声をありがとうございました。

最後の音楽祭

音楽祭実行委員長 3年2組 松山 咲来

私は、一年生の時、音楽の楽しさを知った。そして、最後の音楽祭に全てを懸けた。

今年最初の音楽祭実行委員会。たった一票差で、念願の音楽祭実行委員長になることができた。単純、嬉しい気持ちが強かったが、先輩の姿を思い浮かべ、実行委員長という名にふさわしい姿でいること、自信をもつことを決心した。夏休み明け、本格的に活動が始まり、委員会の司会進行、ちょっとした作業や呼びかけも率先して行った。



しかし、一番力を入れたい部分、「自分のクラス」には、隅々まで目が届かなかった。実際、クラスを動かすのは難しい。全員がやる気がある訳ではないし、指示も通りづらかった。私自身も、練習計画を上手く立てられなかったり、実行委員二人で話し合うことができなかった。リハーサルでは、他のクラスの歌声に圧倒され、危機感を感じたほどだった。そんな中でも、指揮者やクラスメイトに「こうした方が良い。」などのアドバイスをもらって、改善点を見つけていった。本番一週間前、最初の頃と比べれば、各段と上手くなっていた。私は、「他のクラスに追いついた。賞を取れるかもしれない。」そう思っていた。

いよいよその日はやってきた。着々と準備が進んでいき、気持ちも高まっていった。一、二年生の部、過去に歌った懐かしい歌や好きな歌など、楽譜を見ながら、心の中で歌っていた。本当に、どのクラスもレベルが高くて素晴らしかった。時間は淡々と過ぎ、三年生は最後の練習へ。本番までの約一分間。全員が意識を集中させた。静まり返ったホールに、ピアノの音が鳴り響く。そして歌声が重なる。歌の情景をイメージしながら、聴いている人に思いが伝わるように歌った。ホールに響く瞬間、歌っていても鳥肌が立つほど気持ちよい瞬間だった。

二組がステージに上がる番。クラス紹介もあり、緊張していたが、歌う位置につくと、落ち着きを取り戻せた。本番のたったあの一回、私は今までで一番良かったと思う。席に戻った時、「もうあの場所に立って歌うことはできないんだ。」と思うと、自然と涙が溢れた。

私はこの音楽祭が終わって、この音楽祭は「互いに支え合う」ということでできたことなのかもしれないと思った。そして、見守ってくださった先生方、助け合いながら、応援してくれた副委員長、ついてきてくれた実行委員、大変だったけど、協力してくれたクラスのみんな、音楽祭を成功させられた全校生徒のみなさん、本当に感謝しています。

願えば叶う

音楽祭副実行委員長 3年3組 中谷 桜子

四月、クラス替えの紙がわたされた時、真っ先に考えたのは音楽祭のこと。誰が指揮、伴奏をするのか、どこが賞をとるのか。圧倒的ではなく、どこがとってもおかしくはなかった。

音楽祭に向けての準備が始まると、私は実行委員に立候補した。去年、賞が取れず、すごくくやしかったからだ。今年こそは、絶対金賞を取りたいと思っていた。練習を始めてみると今まで聞こえなかった男の子たちの声がとてもきれいでびっくりした。逆に女の子たちの声が聞こえなくなっていた。女の子の声は、きっとどうにかなるだろうと思い、クラスの歌声に関しては、心強かった。だからこそ、自分の指揮がクラスの足を引っ張っていると思った。自分なりに家で練習したり、楽譜を何度も読み返したり、



できることを頑張った。「聞こえる」は指揮、伴奏を今までやったことがない私と千裕が担当した。思い返せば、二人で朝早く学校に行って練習した頃もあった。指揮者は拍子をとるだけでなく、合唱や練習時に的確なアドバイスをし、練習メニューも考える必要がある。私の出すアドバイスは正直、的確ではなかったと思う。また、私は人をほめるのが苦手なのか、伽耶みたいな良かったところを伝えるという部分ができていなかった。「これできていない」、「あれができていない」って文句ばかり言って、酷だったと思う。そう気づいて、残り三日ぐらい気をつけていたけど、どうだったのだろう。私がどんなにぼろぼろでも、クラスみんなはいつも集中して真剣に取り組んでくれていた。学年で一番努力していたという自信はある。それがいつしか、絶対金賞を取りたいというさらに強い思いへと変わっていた。

そして迎えた本番当日。一年生の頃からあこがれていた校歌の指揮も終え、一年、二年の部が次々に終わっていき。先輩たちの歌声にこの上なく感動し涙したあの日からもう1年か、なんて思いながら舞台に向かって進んでいった。三回目のクラス紹介を終え、合唱へ。ここから見る景色も、このクラスで信じるを歌うことはないと思うと、とても悲しかった。絶対後悔しないようにしようと思った。前日にたくさんの人が送ってくれたメッセージや手紙、今まで頑張ってきた日々が頭をよぎった。私は後悔なく歌いきった。

私の友達には私に「強く思えば何かが起こり何かは叶う」と言ってくれた。私たちのクラスは一番練習を頑張っていたし、一番金賞への思いは強かったと思う。去年の音楽祭で悔しかった思いが、運動会で悔しかった思いが確実に力に変わっていた。もう二度と戻ることのない季節が少しずつ増えていく。互いを信じ合いより一層絆が深まったこのクラスで過ごせる日々を大切にしていきたい。初めて持ったトロフィーは私には十分に重く感じた。みんなおめでとう。それとありがとう。本当にお疲れ様です。

最後の音楽祭

3年6組 高橋 真由

10月30日に立川のたましんRISURUホールで音楽祭がありました。

私は初めて指揮者をやったのですが、すごく緊張しました。練習の時は恥ずかしくて前を向けませんでした。それでもがんばって前を向くようにしました。遠くを見るとあまり緊張しないことが分かりました。何回も練習したので、肩が痛くなり、湿布を貼って治しました。「やっぱり指揮者は大変だ」と思いました。



そして本番がやってきました。朝のリハーサルの時、暑くて汗が出ました。心の中で「汗が出ないといいな」と思ってあせりました。本番では幸い汗が出なかったので良かったです。6組は人数が少ないので指揮者も指揮をやりながら歌うのですが、難しかったです。ビデオを見たのですが、後ろを向いていたのでなかなか自分の声が聞こえませんでした。大きな声で歌ったはずなのに聞こえなかったのも、もっと声を出さなきゃと思いました。

私は、高校に行ったら、今よりもっと大きな声で歌ってみたいです。がんばります。

音楽祭

3年6組 川上 朔

10月30日に中学校生活最後の音楽祭がありました。私たちは「プレゼント」と「サウンドオブミュージックメドレー」を歌いました。わたしは「プレゼント」の指揮をしました。

ずっと、朝の時間や音楽の授業で練習しました。会場全体に声が届いたかわかりませんが、自分はよくやったと思っています。舞台に立てなかった人もいたので、全員で歌いたかったです。

次は、2月に「劇と音楽の会」という行事があります。わたしは本当は劇がやりたいのですが、自分たちがやるのは音楽です。何をするかまだはっきり決まっていますが、「プレゼント」か「サウンドオブミュージック」のどちらか1曲はやると思います。その時は、もっとよく歌いたいです。



防災訓練

11月1日(金)に、2年生、1年生を対象に防災訓練が行われました。今回は、救助体験、起震車体験、消火器・煙体験、搬送体験、放水消火体験とグループに分かれて5つの体験活動に取り組みました。小金井消防署の方々にご協力いただき、災害時に何をすればよいか、何ができるかということを考えながら、熱心に活動することができました。



二中学生の活躍

○ バレーボール

第44回小金井市体育協会法人化記念大会 優勝

○ 第71回 小金井市民陸上競技大会

中学生女子1年 100m 第2位 齋藤 若菜(1-2)

中学生女子1年 4 × 100m R 第2位

石井 圓夏(1-3) 風見 彩花(1-2) 久徳 沙和(1-2) 齋藤 若菜(1-2)

○ 第11回中学生「東京駅伝」大会 小金井市代表選手

河村 熙玲(2-4) 新谷 夏海(2-3) 常磐井 謙(2-2) 長澤 大介(2-1) 森部 桜子(2-3)

○ 読書感想文

『変われ、私』

入選 漆畑 とわ(3-2)

『休日くれた、エナジー』

入選 山田 萌々香(3-2)

『自然との共存』

入選 工藤 友奈(2-3)

『君のともだちを読んで』

入選 岡部 協平(2-3)

『二日月を読んで』

入選 綾野 日菜(1-4)

○ 第52回中学生の税についての作文

小金井市教育長賞

木越 斎 (3-1)

東京税理士会武蔵野市部支部長賞

庵原 花奈(3-1)

公益社団法人武蔵野法人会会長賞

栗崎 碧 (3-1)



十二月の予定

日	曜	行	事	日	曜	行	事
1	日			18	水		
2	月	全校朝礼		19	木		
3	火	面談(1~3年)		20	金		
4	水	面談(1~3年) 保護者会(6組)		21	土		
5	木	面談(1~3年)		22	日		
6	金	面談(1~3年)		23	月	生徒会朝礼	
7	土			24	火	大掃除 給食終了	
8	日	市長選挙会場		25	水	終業式 職員会議	
9	月	面談(1~3年)		26	木	冬季休業日(始)	
10	火			27	金		
11	水	職員会議		28	土		
12	木			29	日		
13	金			30	月		
14	土	新入生保護者説明会		31	火		
15	日			1/8(水)始業式 15(水)私立推出願 22(水)私立推入試 都立推出願 24(金)連合作品展(始) 25(土)私立一般出願 26(日)~27(月)都推受検 31(金)都推発表 教科展準備			
16	月	安全指導	後期時間割開始				
17	火	避難訓練	専門委員会				

